

## インフォメーションディスプレイ Vol.5



学芸部  
博物館科学課  
保存修復室  
志賀 智史氏

## 九州国立博物館 様

日本で4番目の国立博物館として、2005年10月にオープン。アジアとの地理的、歴史的関わりが深い九州の地ならではの「日本文化の形成をアジア史的観点から捉える」という、新しい視点を持つ博物館。さらに、教育普及や保存科学の分野を重視するなどさまざまな取り組みが好評で、開館記念特別展へは約44万人が訪れた。



所在地:福岡県太宰府市

45型の大きさと鮮明な画面が、  
特別見学通路(バックヤードツアー)での、  
収蔵庫や修復室の解説に役立っています。

PN-455C  
2台導入  
(特別見学通路)

九州国立博物館様では、文化財の展示だけではなく、保存や修復といったもうひとつの博物館の大切な役割を理解してもらうため、収蔵庫や修復室の一部をガラス張りにしてバックヤードツアーとして公開されています。今回のオープンにあたって、収蔵庫の仕組みや修復の工程などの解説を行なうコンテンツの上映用に、映像や文字の再現が鮮明で、PCの設置スペースが必要ないPC一体型の『PN-455C』と、コンテンツの上映とテロップ作成のために、インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト『e-Signage(イーサイネージ)』を導入されました。



実際に博物館の職員の方々が働かれているバックヤードを特別見学通路として公開。収蔵庫の内部や修復作業をガラス越しに見学できる。解説コンテンツ上映のために用意された『PN-455C』は、どの場所からも見やすいように、天井近くに角度を付けて設置されている。

## 導入時の評価ポイント

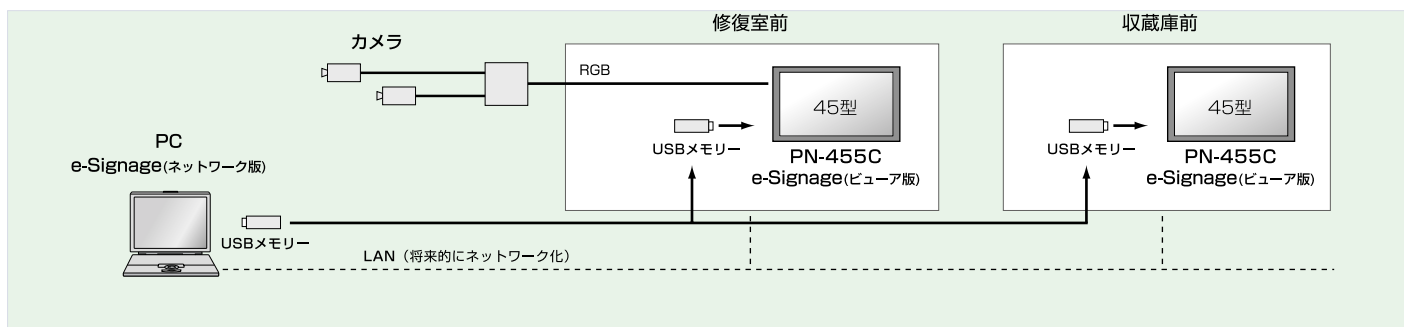
■ 蛍光灯下でも映り込みが少ないことと  
どこに立っても見やすい視野角の広さ

■ 45型の大きさでありながら  
シンプルに設置できるPC一体型デザイン

■ 収蔵品や細かい文字をしっかりと表現できる、  
1,920×1,080画素の高解像度

■ 展示内容に応じてコンテンツ修正が手軽にできる  
e-Signage(イーサイネージ)

## ■ システム概略図



## 導入の経緯

バックヤードという限られたスペースに  
設置しやすいPC一体型で、  
しかも45型の大きさと鮮明さが決め手に。

九州国立博物館様は、「学校より面白く、教科書よりわかりやすい」をキーワードに、バックヤードの公開とともに従来のパネルでの解説だけではなく、ボランティアスタッフとデジタルコンテンツによる解説を導入されました。その表示方法として「最初は映せればいいと、液晶プロジェクターも検討していたのですが、実際にデモを見てそのサイズと表現力の高さで『PN-455C』の採用を

決めました。ナショナルセンターとしての役割もありますから、表示するものにも一定以上のクオリティを求めたかったのです。」と志賀氏はおっしゃいます。また、設置場所が廊下ということもあり、PC一体型というスタイルも導入のポイントとなったようです。

細かい文字や作業の様子も『PN-455C』ならではの精細さで再現できている。画面下部には1行分のテロップスペースが設けられている。



## 導入後の感想

明るい廊下でも精彩に表現できるなど、  
実用的である点はもちろん、その大きさと美しさで  
参加者にインパクトを与えられることにも満足しています。

蛍光灯の真下というディスプレイにとっては厳しい環境でも、映り込みが少なく明るい画面には非常に満足しているとおっしゃる志賀氏。また、45型の大きさと斜めから見てもくっきり見える広視野角の『PN-455C』は、一度に十数人の方が参加されるツアーでご覧いただくモニターとして最適だったようです。さらに、コンテンツを表示するソフトとして導入された『e-Signage』との組み

合わせも扱いが簡単で、テロップの入れ替えなどもご自身で行われるとのこと。このバックヤードツアーには、オープンから11月末までで約三千人の方が参加され、内容はもちろん『PN-455C』の大きさと美しさも好評だそうです。このことは、これまでは表舞台に出ることの少なかった保存や修復という博物館の役割を、印象深くアピールするためにも役立っているようです。



## 今後の展開予定

子どもたちにもっと保存や修復に  
興味を持ってもらえるよう、  
エントランス等でもコンテンツを上映したい。

九州国立博物館様では、貴重な文化財を守り次代に伝えていく博物館科学の世界を広く知ってもらうために、今後はエントラン

スホールなどでもコンテンツを上映するなど、さらなる認知活動に力を入れていかれるご予定です。



● お問い合わせは シャープ株式会社

情報通信事業本部 ディスプレイソリューション推進センター

〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地 電話：(0743) 55-6373

2006年1月発行